

海況速報

平成5年度 第4号(通算 №34)
平成5年11月4日
北海道立水産試験場

9月下旬～10月上旬の海況

【日本海海域】

表面水温は宗谷海峡西口の17～18℃台から津軽海峡西口の20℃台の範囲にあり、全体的に16～18℃台の水温で覆われています。これは昨年同期と比較してわずかながら高く、一昨年とほぼ同程度です。また、日本海北部では、武蔵堆から雄冬に向かって50m以浅に冷水の入り込みがみられること、50m以深で積丹半島沖合に暖水の張り出しがみられることなどが特徴的でした。

余市における沿岸水温(旬平均)は、7月下旬から続いていた大幅に平年値を下まわる傾向はおさまり、9月下旬からはほぼ平年並みもしくは平年より0.5℃程度下回る程度です。

【オホーツク海域】

沿岸域では宗谷暖流が依然として知床半島まで達し、とくに網走沖までは50mで15℃台の暖水もみられました。また、今回の観測では、昨年同期と同様に表面から100m層にかけて、沖合中冷水と沿岸暖流水とのあいだに顕著な潮境が形成されているのがみられました。

水温は50m以浅では全般的に昨年に較べて2～3℃高めとなっています。

【太平洋海域】

道東太平洋海域の表面水温は沿岸域で13～14℃台、沖合域で16～17℃を示しており、昨年と較べると表面ではほぼ同程度、50mでは1～2℃程度高くなっています。とくに50～100m層では沿岸の暖水域(道東沿岸流)が顕著にみられ、その沖合を親潮系水が広く覆っており、暖水塊は見られませんでした。ただし、50m深では北緯41度線付近には暖水の先端がみえています。

道南太平洋海域の表面水温は北部では14～15℃台、南部では17～18℃台を示しており、昨年とほぼ同程度でした。しかし、100m以深では南部で昨年より高めの水温分布がみられ、一昨年とほぼ同程度となっていました。

◎なお、今回は参考資料として青森水試の日本海海洋観測結果も使わせていただきました。改めてお礼申し上げます。

資 料 【観測期間】

稚内水試(北洋丸)	平成5年9月27日～同9月29日(道北日本海海域)
稚内・網走水試(北洋丸)	平成5年10月4日～同10月7日(オホーツク海域)
釧路水試(北辰丸)	平成5年9月30日～同10月5日(道東太平洋海域)
函館水試(金星丸)	平成5年10月6日～同10月7日(道南太平洋海域)
中央水試(おやしお丸)	平成5年10月4日～同10月7日(道央～道南日本海海域)
【参考資料】青森水試(東奥丸)	平成5年10月4日～同10月8日(津軽海峡西方海域)

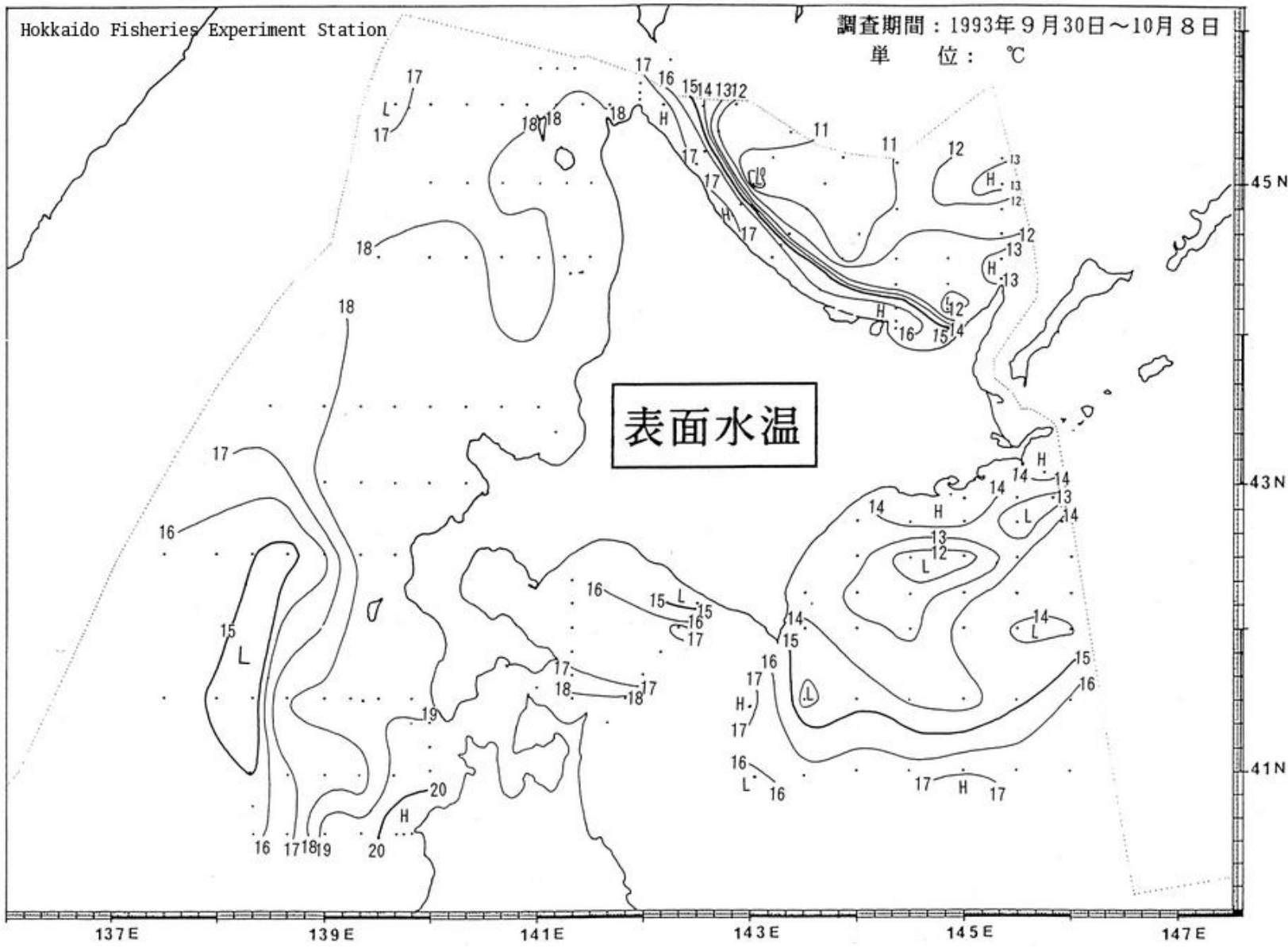
(中央水試 海洋部)

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1993年9月30日～10月8日

単位：℃

表面水温

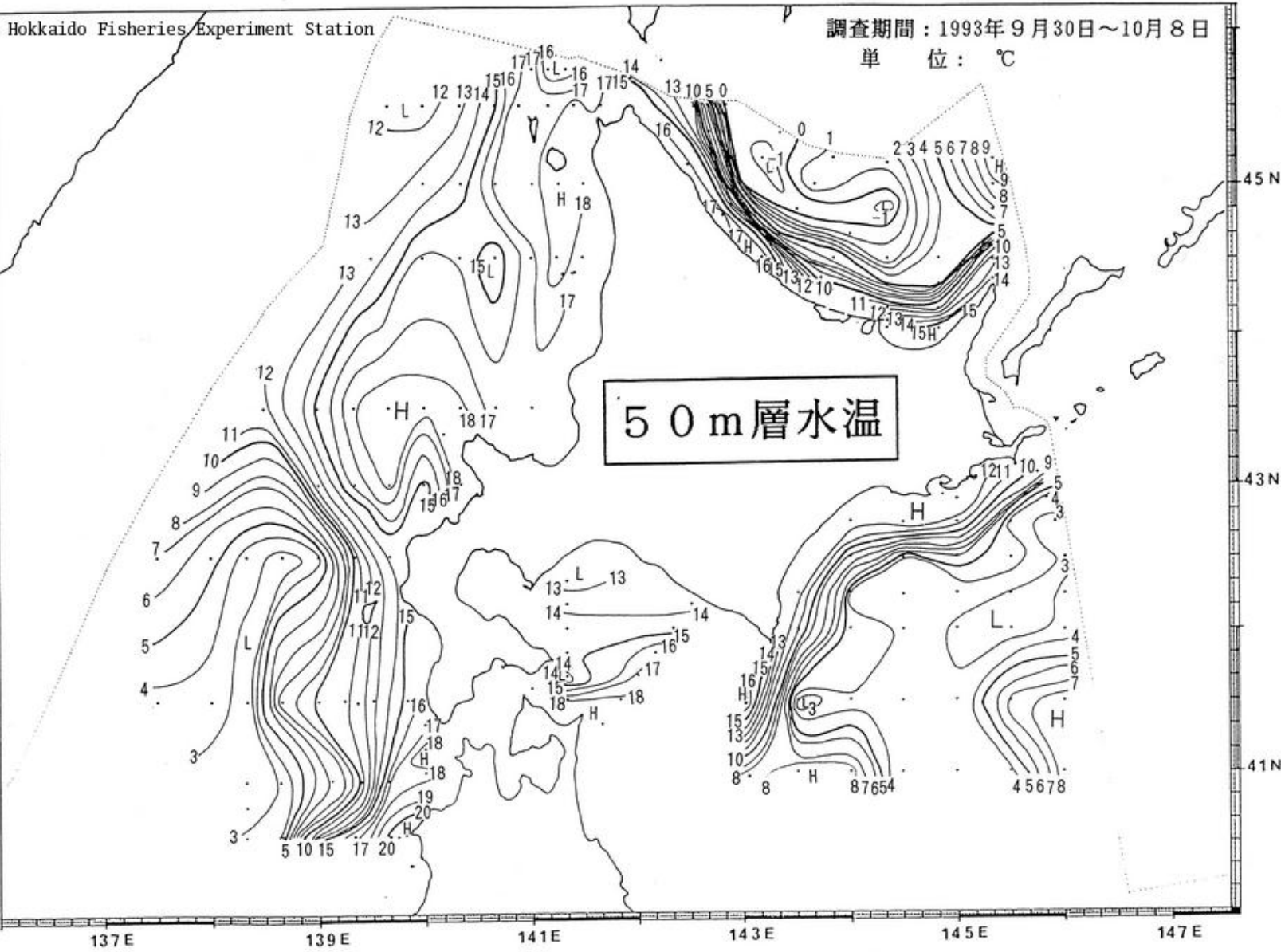


Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1993年9月30日～10月8日

単位：℃

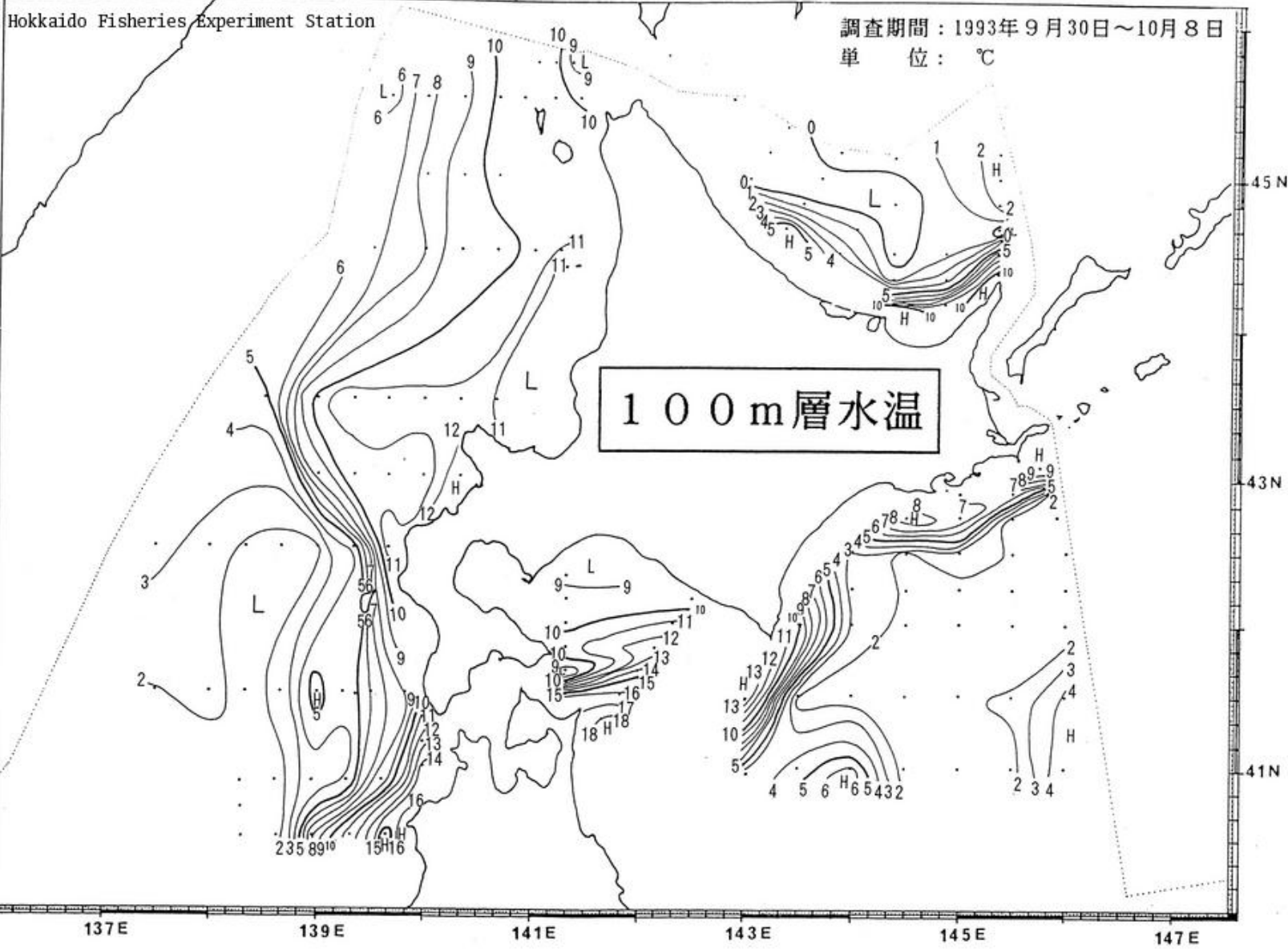
50m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1993年9月30日～10月8日
単位：℃

100m層水温



137E

139E

141E

143E

145E

147E

45N

43N

41N

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1993年9月30日～10月8日
単位：℃

200m層水温

